

我らが宇宙と思ってきた世界、我らの宇宙と豪語してきた世界、それはそれはとてつもなく小さな世界でした。小さな小さな宇宙の中で我らのパウ - だと言って我らは誇ってきました。我らの宇宙は大きかった。大きくて大きくて広くてこの心がどんどん広がっていく、そんな宇宙が我らの本当の宇宙でした。アルバ - ト、申し訳ありません。アルバ - ト、我らが宇宙だと思ってきた世界は、アルバ - トの宇宙に比べるとけし粒ほどのちっぽけな世界でした。アルバ - トの宇宙は大きかった、広がった、どこまでもどこまでも広がっていく宇宙がありました。その中に我らもすっぽりと入り、その大きくて広いその心が我らの心でした。今アルバ - トの宇宙をこの心で知らされました。何と何と我らは愚かなことを繰り返してきたのでしょうか。そんな小さな小さな世界で闘いを繰り返してきたのです。もうそれは愚かとしか言いようがありません。我らはすべて間違っまいりました。我らの宇宙はアルバ - トの中にありました。アルバ - トの意識の中ですべて許されてきた我らでした。申し訳ありません。やっとなんと今我らは自らそのことをこの心で感じさせてもらいました。我らの宇宙が今この心に広がっていきます。アルバ - トとともに広がっていきます。その喜びを今我らはこの心でかみしめております。